

弱酸性水の消毒滅菌における有用性についての報告

日 時 2009 年 5 月 29 日、6 月 8 日
場 所 3 階 3 G 室内（個室）

使用水 EST（株）社製 ステリパワー（弱酸性水）
p H 5.5
有効塩素濃度 100ppm

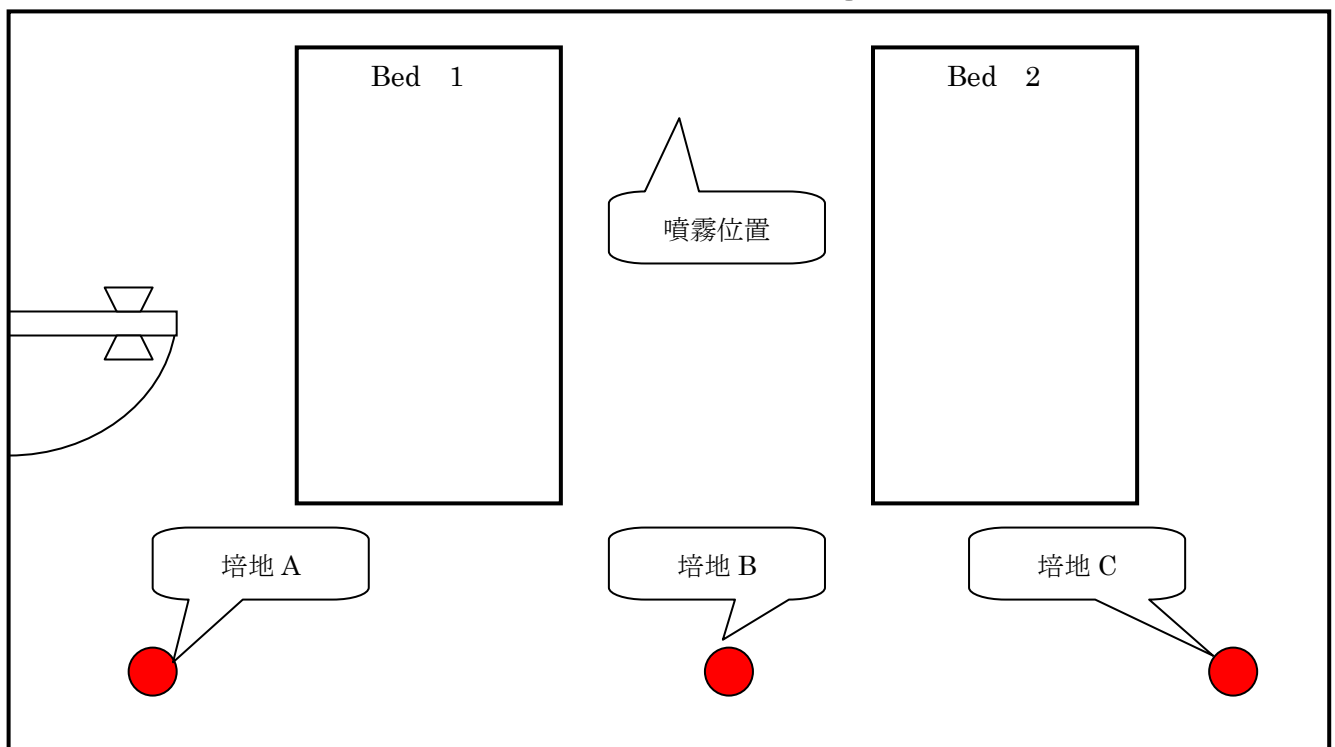
使用器具 EST（株）社製 ハンドスプレー式噴霧器
噴霧能力 約 1.0ml/回

- テスト内容 ① 噴霧を行なう前に培地を所定の場所（下記）に置き 20 分間放置し、その後培地を回収する。
病室中央でステリパワー噴霧を 100 回/1 分間（約 100ml）行う。
- 最初と同じように培地を所定の場所に 20 分間放置し、その後回収。
培地をすぐに外注検査機関に依頼し細菌のコロニー数を調べる。

3 G 室見取り図



培地テスト放置場所



テスト内容 ② 通常業務で1時間程度手洗いしていない状態でスタンプ培地に5秒間手のひらを密着させる。
ハンドスプレー式噴霧器で手のひらに2回(約2.0ml)ステリパワーを噴霧し、その後無菌ガーゼで清拭したのち自然乾燥させ、スタンプ培地に5秒間密着させる。
培地をすぐに外注検査機関に依頼し細菌のコロニー数を調べる。
対照として同時に左手でウエルパスを用いて同様の作業を行った(6月8日)

検査結果

テスト内容 ① の結果

弱酸性水噴霧前はすべての個所の培地に何らかの菌が確認されました。
噴霧後は、全ての個所で菌数が減少しており有意に滅菌作用が確認された。

別紙参照

テスト内容 ② の結果

弱酸性水手洗い前は左右の手にほぼ同数の雑菌が確認されました。
手洗い実施後は、左右両手とも滅菌作用が確認された。

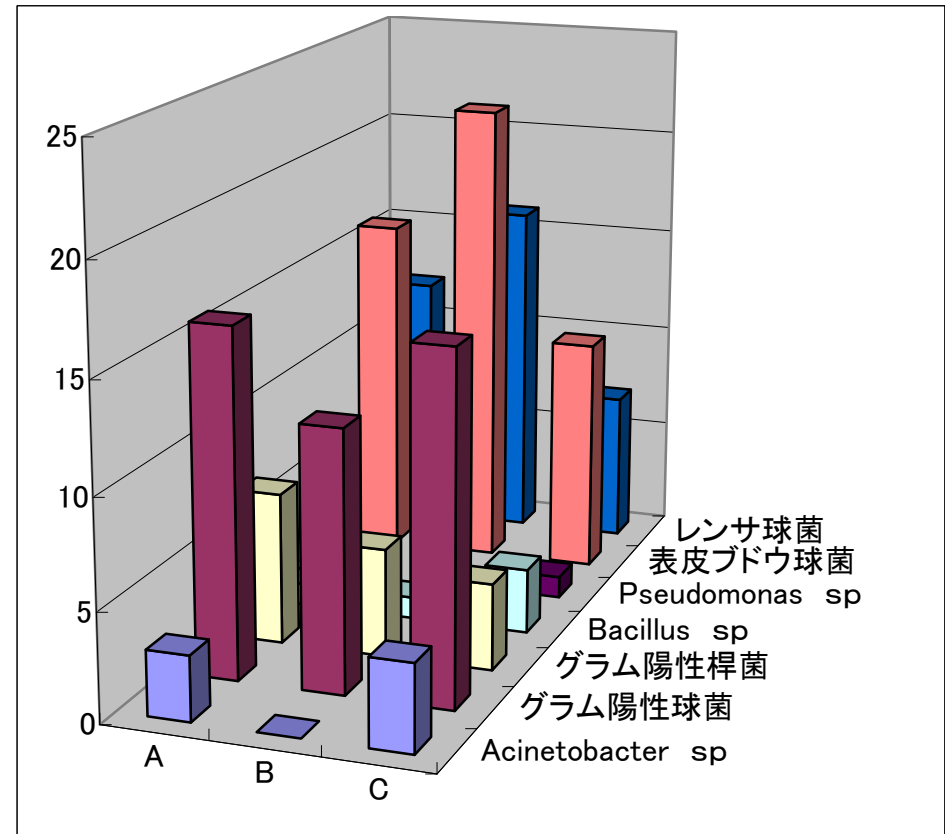
別紙参照

まとめ

ステリパワー(弱酸性水)の噴霧による落下細菌の消毒は、総菌数の半減が確認され、良好な結果が得られました。手指の消毒作用はウエルパスと同程度の滅菌作用が確認できました。塩素臭も噴霧後短時間で軽減しあまり気にならないレベルと感じました。

培地番号	Acinetobacter sp	グラム陽性球菌	グラム陽性桿菌	Bacillus sp	Pseudomonas sp	表皮ブドウ球菌	レンサ球菌
A	3	16	7	1	0	16	12
B	0	12	5	1	0	22	16
C	4	16	4	3	1	11	7

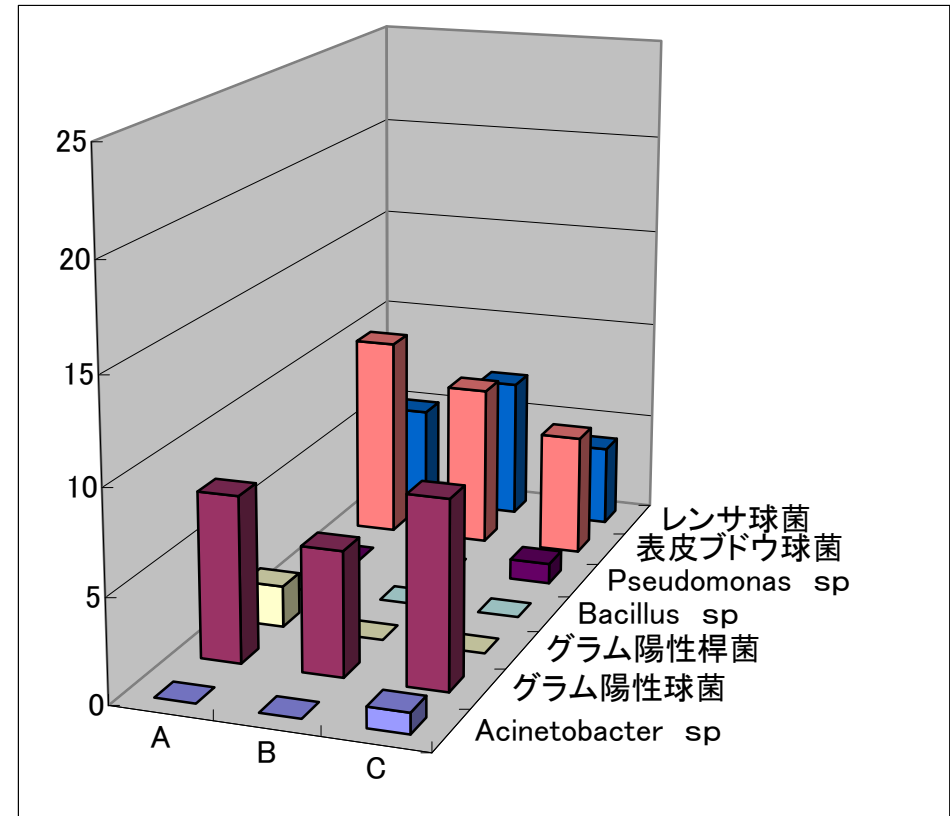
ステリパワー噴霧前



培地番号	Acinetobacter sp	グラム陽性球菌	グラム陽性桿菌	Bacillus sp	Pseudomonas sp	表皮ブドウ球菌	レンサ球菌
A	0	8	2	0	0	10	5
B	0	6	0	0	0	8	7
C	1	9	0	0	1	6	4

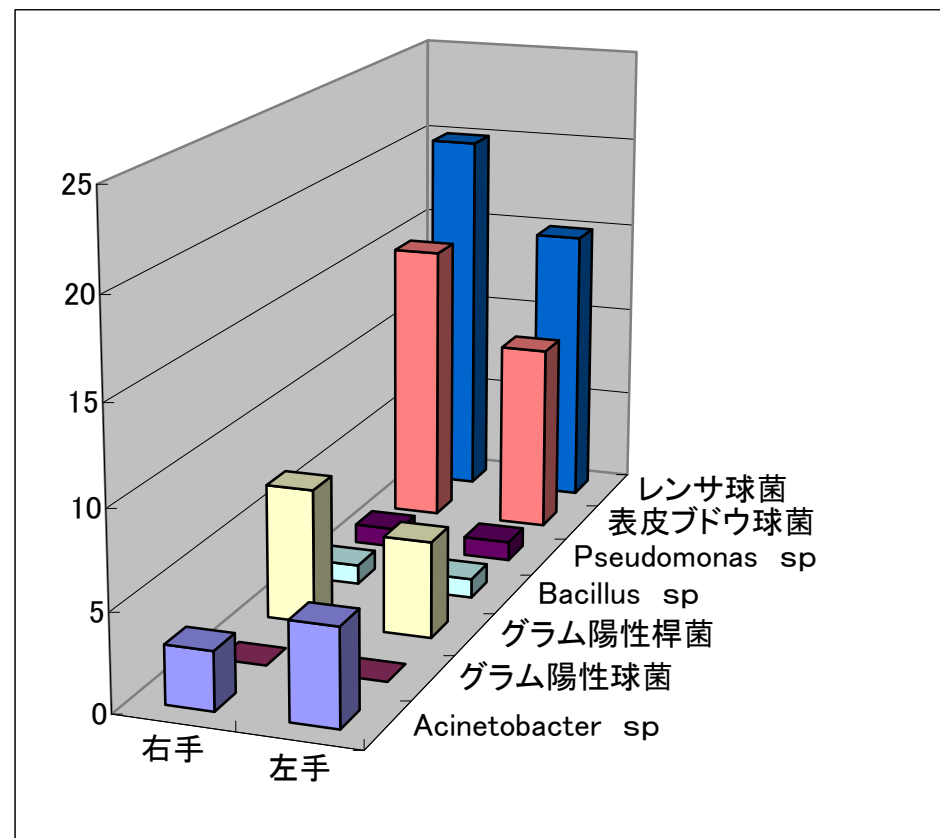
ステリパワー噴霧後

すべての菌腫が室内どの場所においても有意に減少した。



培地番号	Acinetobacter sp	グラム陽性球菌	グラム陽性桿菌	Bacillus sp	Pseudomonas sp	表皮ブドウ球菌	レンサ球菌
右手	3	0	7	1	1	15	20
左手	5	0	5	1	1	10	15

手洗い前



培地番号	Acinetobacter sp	グラム陽性球菌	グラム陽性桿菌	Bacillus sp	Pseudomonas sp	表皮ブドウ球菌	レンサ球菌
右手	0	0	0	0	0	0	0
左手	0	0	0	0	0	0	0

手洗い後

右手⇒ステリパワーを2回噴霧ののち無菌ガーゼでふき取り自然乾燥してからスタンプ培地にて採取した。

左手⇒ウエルパスを上記同様の手順で処置後採取した。

どちらも有意に滅菌され良好な結果が得られた。

